

BRIDE®

edirb®

GR86／GRカローラ
GRヤリス／ヤリス

オススメ装着ガイド

ドライブが
もっと楽しくなる





GR86 ZN8とZN6 86は同様

GR開発ドライバー
佐々木雅弘もお気に入り

リクライニング機構付き セミバケットシート



ローポジションとシートバックの角度調整が得られるセミバケットシリーズはフルバケット顔負けの高剛性とホールド性がウリ。リクライニングデバイスはバックラッシュ（遊び）が限りなくゼロに近く、5～6点式ハーネス対応の座面ベルトホールも備わる。GIAS IIIはその究極モデルで、肩から腿に掛けての深いサイドサポートが特徴。乗り降りは多少しづらいが、座ってしまえば、その包まれ感到感動。快適かつ疲れにくい。

ZN8 GR86 / ZN6 86の場合、LRタイプのシートレールでは、純正シート比の着座位置が約15mmダウン、ハンドルセンターは±0mm。R0タイプでは、それぞれ±0mmとなる。シェルはFRP製とカーボン製。カラーはグラデーションロゴ、ブラックロゴ、ブラック、レッドの4色。腿下クッションはスタンダードとロータイプが選べる。保安基準適合。座面部には着座センサーを搭載（車種によって対応できない場合あり）。



GIAS III フルバケットに限りなく近い 圧巻のホールド性



GIAS III NUGRAIN



GIAS III REIMS



STRADIA III 乗り降りのしやすさと剛性&ホールド性の高さを両立



STRADIA III
Classic



STRADIA III
NUGRAIN

GIAS IIIと基本は同じ。サイドサポートが低く抑えられ、乗降性に寄与するが、座面ベルトホールも活用して5～6点式ハーネスを備えれば、サーキットでも十分なホールド性が得られる。肩のサポートはGIAS IIIより張り出しが低い位置で外側に開く扇型形状（GIAS IIIは高い位置で包み込む形状）。肩を優しく支える。シートレールごとの着座位置とハンドルセンターはGIAS IIIと同じ。シェル材質、カラー、腿下クッション、保安基準適合、着座センサーについてもGIAS IIIに準じる。助手席用にも選ばれる事例も多い。



ERGOSTER
NUGRAIN

コンフォートスポーツシート

快適性と乗降性と疲れにくさ スポーツからメディカルまで



ERGOSTER



EUROSTER II CRUZ



STREAMS CRUZ

ERGOSTERは狭い車室内にも収まって、比較的、低く座れる。YZタイプのレールでは純正シート比で約5mmダウン。ハンドルセンターはドア側に約10mmオフセット。M0タイプでは、約20mmアップ、±0mmとなる。乗り降りもラクな万能快適型。EUROSTER

II CRUZはスポーツ性と快適性の好バランス。YZタイプでは純正シート比で約10mmアップ。ハンドルセンターはドア側に約10mmオフセット。M0タイプでは約35mmアップ、±0mmだ。STREAMS CRUZは腰痛になりにくく疲れにくいメディカルコンフォートモデル。着座位置、ハンドルセンターはEUROSTER II CRUZと同じ。

フルバケットシート



XERO RS PLUS 保安基準適合の大型ヘッドガード本格モデル

シートバックは腰上部が起きて骨盤が立ち、背中の中は後方に倒れ、肩甲骨から上が起き、首の上が寝るS形状。シェルの高剛性と相まって、インフォメーションに優れ、リラックスできて、疲れにくく、ハンドルが近くなる。HANSやヘルメットのクリアランスも得やすい。CS PLUSよりヘッドガードは大型で、全高は30mmアップ。腰から腿のサイドサポートも最大で30mm高い。GR86の場合、FGタイプのシートレールでは純正シート比 約35mmダウン、ハンドルセンターはドア側に

約15mmオフセット。LFタイプでは約5mmダウン、±0mm、FOタイプでは約10mmアップ、±0mmとなる。競技向けのLGタイプは約40mmダウン、ドア側に約5mmオフセットだが、センター側のフロアカーペットと干渉。シェルはFRP製とスーパーアラミド製。カラーはグラデーションロゴ、ブラック、レッドの3色。FIA規格取得モデルで、ハーフカバーの背面は後席ありのGR86でも、そのまま保安基準をクリア。座面部には着座センサーを搭載（車種によっては対応できない場合あり）。



XERO CS PLUS 姿勢よく座れて疲れにくく操作しやすい

S形状のシートバックなど、基本はRS PLUSと同じだが、ヘッドガードは小さく、全高も腰から腿に掛けてのサイドサポートも、それぞれ30mm低い。それでも包まれ感は相当なものだ。RS PLUS同様、姿勢よく座れて、疲れにくく、ハンドルやシフト、ペダルの操作がしやすく

で、HANSやヘルメットのクリアランスが得やすい。シートレールごとの着座位置とハンドルセンターはRS PLUSと変わらず、シェル材質、カラーラインアップ、FIA規格取得、保安基準適合、着座センサー搭載についてもRS PLUSに準じる。



ZETAIV ドライバーやクルマを選ばないベストセラー



ZETAIV NURMAN

標準レールで装着できるワイド仕様
大柄な人以外にも魅力！



乗降性とホールド性の両立など、マルチに要求を満たす。腰から胸までが後方に倒れ、その上方は垂直という直線+直線のシートバックはやや寝かせて取り付けると、ほどよいローポジションと、リラックスできる運転姿勢を実現。シートレールごとの純正シート比の着座位置はLFタイプが約-15mm、FOタイプは±0mm、FGタイプは約-45mmで、LFとFOはハンドルセンターが得られ、FGはドア側に15mmオフセットされる。シェルはFRP製とカーボン製。カラーはグラデーションロゴ、ブラックロゴ、ブラック、レッドの4色。保安基準適合／FIA規格取得で、座面部に着座センサーを搭載（車種によっては対応できない場合あり）。

標準幅のシートレールで装着でき、大柄な人がすんなり収まって、スポーツ走行を楽しめるよう設計されている。乗り降りがしやすいのも特徴で、普通の体型の人にも『ゆったり座れるフルバケット』としての需要がある。推奨シートレールはLFタイプで、ZETAIVと同じく、着座位置は純正シート比で約15mmダウン。ハンドルセンターも得られる。シェルはカーボン製。カラーはグラデーションロゴ、ブラックロゴ、ブラック、レッドの4色。保安基準適合モデルで、座面部には着座センサーを搭載（車種によっては対応できない場合あり）。

GR YARIS

リクライニング機構付き

セミバケットシート

GIASIII edirb 161/162やNUGRAINもあり！



GIAS IIIの特徴はGR86ページのとおり。土屋圭市スペシャルエディションモデルのGIAS III KINGや高級スウェード調生地で背面までフルカバーのGIAS III REIMS、高触感表皮材ヌグレを纏うGIAS III NUGRAINに加え、プレミアムブランド edirb にも161/162のほか、西陣織の技法で織ったカーボンシェルの161/162 NC、シリコン（合成皮革）生地を纏うクリアホワイの161/162 SCなど、多彩なバリエーションがあり、目的や好みに応じて選びたい。GRヤリス



Gen2はR0タイプのGen2用で純正シートに対し、約30mmダウン、ハンドルセンターはドア側に約10mmオフセット。R0タイプのGen1用を転用すると、約60mmダウン、ドア側に約10mmオフセットとなる。Gen1はR0タイプのGen1用で約60mmダウン、ドア側に10mmオフセット。R0タイプGen2用の転用で約30mmダウン、ドア側に10mmオフセット。



STRADIAIII edirb 171/172やNUGRAINも含めてメインを形成



STRADIA IIIもKING、REIMS、NUGRAINがあり、小径ベルトホルのClassicもラインアップ。edirbは171/172、同NCをそろえる。シートレールとの組み合わせによる着座位置とハンドルセンターはGIAS IIIと同じで、Gen2にR0タイプGen2用を用いた場合、純正シート比 約30mmダウン、ハンドルセンターはドア側に約10mmオフセット。R0タイプGen1用を転用の場合、約60mmダウン、ドア側に約10mmオフセットとなる。Gen1にR0タイプGen1用では約60mmダウン、ドア側に10mmオフセット。R0タイプGen2用の転用では約30mmダウン、ドア側に10mmオフセット。

コンフォートスポーツシート



ERGOSTER edirb 064VやNUGRAINなど広がる派生モデル



ERGOSTER、EUROSTER II CRUZ、STREAMS CRUZなどをはじめ、コンフォートスポーツ系も候補は多彩。ERGOSTERベースの064V、EUROSTER II CRUZベースの054V、STREAMS CRUZベースの132Vと、edirbモデルも充実。GRヤリスでは、比較的ローポジションが得られ、マルチプレイヤー的なキャラクターのERGOSTERが人気。Gen2はGen2用M0タイプのシートレールで着座位置が純正シート比±0mm、Gen1用の転用で約30mmダウン。Gen1はGen1用M0タイプで約30mmダウン、Gen2用の転用で±0mm。いずれもハンドルセンターはドア側に約10mmオフセット。

フルバケットシート



XERO RS PLUS

絶対的な安心感とホールド性で的確な操作ができる

大型ヘッドガードと深いサイドサポートを備えた保安基準適合／FIA規格取得モデル。着座位置とハンドルセンターの一例を挙げると、GRヤリスGen2にはLFタイプGen2用のレールで、純正シート比 約25mmダウン、ハンドルセンター±0mm。LFタイプGen1用の転用で約55mmダウン、±0mm。Gen1はLFタイプGen1用で、約55mmダウン、±0mm、LFタイプGen2用の転用で約25mmダウン、±0mmとなる。



XERO VS PLUS

ZETA IVより少しローポジションの
ヘッドガード付きマルチプレーヤー

ヘッドガード以外はZETA IVに近く、ストレート形状のシートバックに体を預けて、リラックス状態での運転が可能。疲れにくさも特筆できるだろう。ZETA IVとの違いは座面のシェル形状とクッションの薄さで5mmほど着座位置が低くなること（ハンドルセンターは変わらず、LFタイプで±0mm、F0タイプでドア側に約10mmオフセット）、シートバックの角度がわずかに起きていること、サイドサポートは浅いが、シートバックは厚く、その分、少し重い、剛性が高いことなど。もちろん、保安基準適合／FIA規格取得モデル。



XERO CS PLUS

スポーツ走行と快適ドライブの両面で効果を実感！

抜群のホールド性を誇るヘッドガード付き保安基準適合／FIA規格取得モデル。レース、タイムアタック、ジムカーナ、ラリー、ダートトライアルなど、モータースポーツ全般で活用されている。とくにGRヤリスではハンドル、シフト、ペダルの操作がしやすいポジションが得やすい。シートレールとの組み合わせによる着座位置とハンドルセンターの数値はRS PLUSに準じる。



ZETA IV

日常からサーキットまで無難にこなす定番モデル

やや寝かせた状態で取り付けると、ハンドルは少し遠くなるが、肩・腕・脚の力を抜いた状態での運転ができる。Gen2にLFタイプGen2用では純正シート比 約35mmダウン、ハンドルセンター±0mm。LFタイプGen1用の転用では約65mmダウン、±0mm。Gen1はLFタイプGen1用で、約65mmダウン、±0mm、LFタイプGen2用の転用では約35mmダウン、±0mm。



ZETA IV NURMAN

大柄な人にほどよくフィット！
「ゆったり座りたい」にも応える

標準シートレールを用いて装着できるワイド仕様。大柄な人をしっかりホールド。また、そうでない人の「ゆったり座りたい」という嗜好にも応える。着座位置やハンドルセンターはZETA IVと同じ。ZETA IVではLFタイプの数値を示したので、ここではF0タイプを紹介。Gen2にGen2用では純正シート比 約30mmダウン。Gen1用の転用では約60mmダウン。Gen1にGen1用では約60mmダウン、Gen2用の転用では約30mmダウン。いずれもハンドルセンターはドア側に約10mmオフセット。

YARIS Cup Car

フルバケットシート



XERO RS PLUS

絶大な安心感とホールド性が魅力
大型ヘッドガードは視界を遮らない

ヤリスカップやその他のモータースポーツ、サーキット走行などにMXPA10ヤリスを活用する人への提案。安心感や圧巻のホールド性で選ぶなら、XERO RS PLUS。体がしっかり固定され、より一層、的確な操作ができる。大型ヘッドガードはドアミラーを含めた広い前方視界を妨げず（助手席に乗る人や後方は見づらい）、バックモニターを備えれば、普段乗りも無難にこなせる。シートレールはGRヤリスと共通で、Gen1用LFタイプでは純正シート比 約55mm ダウン。Gen2用LFタイプでは約25mm ダウン。いずれもハンドルセンターは±0mm。



XERO CS PLUS

ドライビングに集中できる包まれ感
ベストポジションも得やすい

RS PLUSほどの深いサポートや頭部の包まれ感はないが、十二分なホールド性が得られる。RS PLUSと同じS字形状のシートバックは骨盤が立って、疲れにくく、ハンドルが近くなることやHANSやヘルメットのクリアランスを確保しやすいメリットを備える。GRヤリス同様、ベストなドライビングポジションが得やすく、ヤリスカップカーでも支持されている。着座位置やハンドルセンターについてはRS PLUSに準じる。シートレールはLFタイプのほか、FOタイプも使える（LFから約5mmアップ。ハンドルセンターはドア側に約10mmオフセット）。



XERO VS PLUS ZETAIVと似て非なる 直線形状背面モデル

ヘッドガードは欲しいが、シートバックはストレート形状のほうがよいという人にはこちら。ZETAIVとの違いは5mmほど着座位置が低くなること、シートバックの角度がわずかに起きていること、サイドサポートは浅いが、シートバックの剛性が高いことなど。



ZETAIV

ヤリスカップでも根強い人気
RS PLUSやCS PLUSより低い着座位置

スタンダードモデルだが、ヤリスカップやその他の競技、サーキット走行に興じる人にも根強い人気を誇る。ストレート形状のシートバックは、やや寝かせた状態で取り付けると、ハンドルは少し遠くなるが、リラックスしての運転ができる。シートレールはGRヤリスと共通で、Gen2用LFタイプが純正シート比 約35mm ダウン、ハンドルセンター±0mm。Gen1用LFタイプで約65mm ダウン、±0mm。Gen2用FOタイプが約30mm ダウン、ドア側に約10mm オフセット。Gen1用FOタイプで約60mm ダウン、ドア側に約10mm オフセット。

GR COROLLA



GR TOYOTA GAZOO Racing X GROW Design
AERO STABILIZING SPORT SEAT

セミバケットシート

GIASIII / STRADIAIII

日常もサーキットもGRカロラの走りのよさをもっと味わうためのセットメニュー

GRカロラのキャabinは広く、フルバケット、セミバケット、コンフォートスポーツのいずれも装着可能だが、「普段乗りがメインで、ときどきサーキット」という、最も多い層に、運転席 GIAS III、助手席 STRADIA III のセミバケット定番スタイルを提案。用途や好みに応じて、土屋圭市スペシャルエディションの同 KING 系や高級スウェード調生地+背面までフルカバーの同 REIMS 系、高触感表皮材ヌグレを纏う同 NUGRAIN 系、プレミアムブランドの edirb 161/162、171/172 やそれらベースの同 NC (西陣織で織ったカーボンシェル採用)、同 SC (シリコン生地のクリアホワイトカラー)、172 ベースの GR TOYOTA GAZOO Racing X GROW Design AERO STABILIZING SPORT SEAT (導電性表皮材を座面に用い、除電スタビライジング機能を搭載) などという手もある。運転席の着座位置とハンドルセンターは R0 タイプのシートレールで純正シート比 約50mm ダウン、ドア側に10mm オフセット。ハンドル、シフト、ペダルの操作がしやすいポジションに。TGR X GROW Design モデルはレールとのセット販売で、純正シート比 約20mm ダウン、ハンドルセンター±0mm。



GIASIII

レーシングドライバーと走り好きのレースクイーンがそれぞれの乗り慣れたクルマで体感！



元嶋佑弥 佐々木雅弘 BRIDE GALS 篠田奏心
GR YARIS/GR COROLLA/YARIS Cup Car



BRIDE シートインプレ映像は
こちらをチェック！

<https://youtu.be/leaoUEOgTrw>



STRADIAIII

edirbシリーズは、全ての製品にインテリアガード™(ガラスコーティング)を施工。表皮材の耐久性や防汚性、耐水性、抗菌、抗ウイルス、防カビなどの効果を付与しています

edirb® という選択肢

edirb 0A1

カーボン製シェル
プロテインレザー™×ウルトラースエード®×ヌグレ®
グレーステッチ/レッドステッチ/ブルーステッチ
保安基準適合 / FIA 規格取得
着座センサー搭載(座面部)
※車種によっては対応できない場合があります。



ZETA IV ベースの高級フルバケット。背面上部までを覆うハーフカバーで、後席ありの車種でもそのまま保安基準をクリア。サイドの手縫いのキルティングが快適性とフィット感を高める。

edirb 161/162

カーボン製シェル
プロテインレザー™×ウルトラースエード®×ヌグレ®
グレーステッチ/レッドステッチ/ブルーステッチ
保安基準適合
着座センサー搭載(座面部)
※車種によっては対応できない場合があります。



GIAS III ベースの高級セミバケット。背面上部までを覆うハーフカバーで、後席ありの車種でもそのまま保安基準をクリア。サイドの手縫いのキルティングが快適性とフィット感を高める。腿部クッションがスタンダードの161とロータイプ162に分かれる。

GR TOYOTA GAZOO Racing×GROW Design AERO STABILIZING SPORT SEAT

レーシングドライバー佐々木雅弘 監修の
プレミアムスポーツリクライニングシート
<https://grow-motorsports.shop/>

GR86/GRヤリス/GRカローラ専用のリクライニング機構付きセミバケット。専用シートレールとの組み合わせで、着座位置は純正比+20mm、ハンドルセンターは±0mm。導電性表皮材を座面に用い、快適性や操縦安定性に寄与する除電スタビライジング機能を搭載。



カーボン製シェル
プロテインレザー™×ウルトラースエード®×ビガプリモ
導電性表皮材/グレーステッチ
純正シートベルトガイド標準装備
保安基準適合
着座センサー搭載(座面部)

edirb 054V

プロテインレザー™×ウルトラースエード®×ヌグレ®
グレーステッチ/レッドステッチ/ブルーステッチ
シートヒーター搭載モデルあり(12V専用)
アームレスト別売 保安基準適合
着座センサー搭載(座面部)
※車種によっては対応できない場合があります。



EUROSTER II CRUZ ベースの高級コンフォートスポーツシート。座面とバックレストのウレタンを薄くするチューニングを施して、深く座れるようにしたことで、包まれ感を増している。

edirb 171/172

カーボン製シェル
プロテインレザー™×ウルトラースエード®×ヌグレ®
※ロイヤルレッドはディナミカ®
グレーステッチ/レッドステッチ/ブルーステッチ/ロイヤルレッド
保安基準適合
着座センサー搭載(座面部)
※車種によっては対応できない場合があります。



STRADIA III ベースの高級セミバケット。背面上部までを覆うハーフカバーで、後席ありの車種でもそのまま保安基準をクリア。サイドの手縫いのキルティングが快適性とフィット感を高める。腿部クッションがスタンダードの171とロータイプの172に分かれる。後発のロイヤルレッドは表皮材に通気性がよくソフトで滑らかな触感のディナミカ®を採用。

edirb 161 SC/162 SC

カーボン製シェル
シリコン(合成皮革)
クリアホワイト
保安基準適合
着座センサー搭載(座面部)
※車種によっては対応できない場合があります。



肌触りのよさと質感の高さに加え、防汚性、耐候性、耐水性にも優れるシリコン(合成皮革)生地を採用。鮮やかなクリアホワイトが映える161/162の派生モデル。

edirb 064V

プロテインレザー™×ウルトラースエード®×ヌグレ®
グレーステッチ/レッドステッチ/ブルーステッチ
シートヒーター搭載モデルあり(12V専用)
アームレスト別売 保安基準適合
着座センサー搭載(座面部)
※車種によっては対応できない場合があります。



ERGOSTER ベースの高級コンフォートスポーツシート。生地のかさ、サイドのキルト加工、座面とバックレストのウレタンを薄くするチューニングを施して、深く座れることにより、包まれ感を増している。

edirb 132V

プロテインレザー™×ウルトラースエード®×ヌグレ®
グレーステッチ/レッドステッチ/ブルーステッチ
シートヒーター搭載モデルあり(12V専用)
アームレスト別売 保安基準適合
着座センサー搭載(座面部)
※車種によっては対応できない場合があります。



STREAMS CRUZ ベースの高級コンフォートスポーツシート。座面とバックレストのウレタンを薄くするチューニングを施して、深く座れるようにしたことで、包まれ感を増している。

ブリッド公式YouTube
<https://youtube.com/user/BRIDEchannel>

ブリッド公式Facebook
<https://facebook.com/bride.jp/>

ブリッド公式Instagram
https://instagram.com/bride_japan/

ブリッド公式X
https://x.com/BRIDE_JAPAN



最新の車種別適合情報は
ウェブサイトを
ご覧ください。
<https://brideseats.com>



BRIDE CHANNEL
映像配信
◀チャンネル登録はこちら▶

掲載製品の仕様・デザイン・価格等の変更および、販売終了を予告なく行う場合があります。予めご了承ください。



BRIDE SPORT &
RELAXING SEAT

BRIDE CO., LTD.

ブリッド株式会社 **BRIDE®** はブリッド株式会社の登録商標です。

〒476-0015 愛知県東海市東海町1丁目11番1号
☎(052)689-2611 ☎(052)689-2612